

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Ultrasonography or palpation for detection of melanoma nodal invasion: a meta-analysis	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ9-2	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ I ）	
	Pubmed ID	15522655	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Lancet Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	5	
	号	11	
	ページ	673-80	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （ 2 ）	
	発行年月	2004 Nov	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Bafounta ML	Hopital Ambroise Pare
その他著者 1		Beauchet A	同上
その他著者 2		Chagnon S	同上
その他著者 3		Saiag P	同上
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	メラノーマ患者のリンパ節転移を検出する目的で行う触診と超音波検査の有用性を評価する
	データソース	2003 年 12 月 1 日までの MEDLINE (1996 から) , EMBASE (1989 から) , PASCAL-BIOMED (1987 から) , Cochrane database、BIUM (1985 から) 。 MEDLINE の 検 索 に は ultrasonography, sonography, ultrasound, echography のキーワードを使用した。
	研究の選択	当初 94 報の論文を検索しアブストラクトから 28 報に絞った。 そのうち 12 報をメタアナリシスに使用した。
	データ抽出	不明
	主な結果	超音波検査は触診に比べ有意に検出力が高かった。 超音波検査(odds ratio 1755; 95% CI 726-4238) 触診(21 [4-111]; p=0.0001) 超音波検査と触診の陽性尤度比は 41.9 (29-75)、4.55 (2-18)、 超音波検査と触診の陰性尤度比は 0.024(0.01-0.03)、0.22(0.06-0.31)
	結論	触診に比べ正確であるので経過観察に超音波検査を行うべきである。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	古賀弘志
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I)